

## 採集例会報告 一甲虫学会 2011 年度採集例会に参加して一

2011年7月2日から3日にかけて、梅雨前線が南北に移動する天候の中、岐阜県日和田高原において甲虫学会第2回採集例会が開催された。同地での採集例会は少しずつ季節を変えての3年連続開催であり、関東、中部、関西から14名の方々が参集した。参加者は多くなかったが、コテージを借り切ってオールナイトで語り明かせる環境のもと、参加者全員と親睦を深めることができた。カミキリムシの採集品ではミヤママタタビの花からニセハムシハナカミキリ、立枯れ木からアラメハナカミキリなどが採集され、トピックスとしては、谷角素彦氏により岐阜県としては初記録かもしれないモモボトハナカミキリ1♂が得られた。その他の甲虫では、一昨年に続いて千間樽沢の針葉樹の立ち枯れからオオヒラタコクヌストが得られ、ロッジの敷地内でルリクワガタが得られている。ミヤマヒメハナをはじめとする *Pidonia* 類も豊富であった。コメツキについては種類が豊富な場所であり、普通種のクロツヤハダコメツキと思ったものが同定してもらうとキイロツヤハダコメツキやコクロツヤハダコメツキであると判明したり、ヘリアカシモフリコメツキやナオミヒメコメツキなどが採集されたりしている。ルリクワガタについては、晩秋から冬季に材中から新成虫を掘り出した経験はあったが、今回ミズナラ生木の枯死部に集まっている成虫を観察し、生態の一面を垣間見ることができた。天候が心配されての開催であったが、幸いにも採集に支障があるほどの崩れはなく、皆さん思い思いに採集と懇親会を楽しまれたのちに、ナイター幕の前で採集をしたり、室内で情報交換をしたりしながら、日和田高原の夜のひと時を過ごされたようだ。3日の朝食後に記念写真の撮影をおこない、名残惜しい思いの中、再会を誓っての散会となった。

とても楽しい懇親に加え、甲虫ではないが、ヨコジマナガ、ジョウザンナガ、ヒメヨコジマナガなどのハナアブ類が見られる素晴らしい自然環境と風を感じさせていただき大満足の筆者であった。参加者の皆様お世話になりました。とても楽しかったです。またお会いしましょう。ありがとうございました。

(〒224-0013 横浜市都筑区すみれが丘21-12 日下部良康)



図1. 懇親の様子。



図2. ライトトラップの様子。



図3. 集合写真。

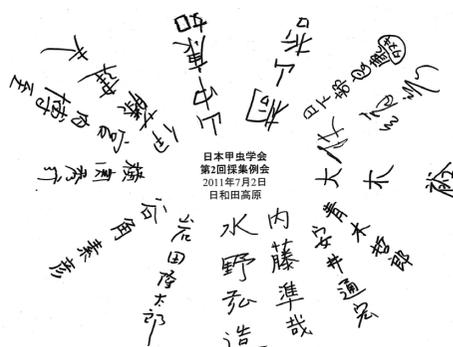


図4. 第2回採集会のサイン。